令和４年度　香川県技術士会　見学会報告

１．実施日　令和４年１１月９日（水）

２．見学場所

⑴ 高知県立牧野植物園・竹林寺　見学

⑵ 日下川新規放水路事業　現場視察

⑶ 佐川町が生んだ偉大な博士の足跡　探索

植物学者 牧野博士の生誕地　探索

土木技術者　廣井博士の記念銅像　見学

３．行程スケジュール・参加者

時刻	内容	備考
7:50	(集合)JR高松駅バス停 14番乗り場	東交ﾄﾗﾍﾞﾙ㈱ 087-821-1119
8:00	(発)JR高松駅バス停	
10:30	県立牧野植物園・竹林寺 牧野植物園入園(入園券配布。集合写真) 希望者は、竹林寺拝観(費用は自己負担)	1.5時間見学 買い物(クーポン券使用可)
12:00	牧野植物園・竹林寺 出発	集合場所に注意
12:20	「カツオ船」到着 昼食(松花堂膳+寄せ鍋)	買い物(クーポン券使用可)
13:00	「カツオ船」 出発	
14:00	鹿島建設㈱ 日下川新規放水路工事現場 到着 工事概要説明、放水トンネル内視察	高岡郡日高村下分 1.5時間見学
15:30	日下川新規放水路工事現場 出発	
15:50	佐川町 散策 牧野富太郎館、廣井勇記念像、名教館 散策 買い物(酒ギャラリーほてい)	0.5時間 買い物(クーポン券使用可)
16:20	佐川町 出発	
19:00頃	(到着)JR高松駅バス停14番乗り場 解散	

【参加者名簿】

氏名	性別	勤務先
武山　正人	男	
細谷　芳照	男	㈱四電技術コンサルタント
細谷　和子	女	
浅野　彰洋	男	四電エンジニアリング㈱
葛西　剛	男	(公財)香川県建設技術センター
吉田　智紀	男	㈱石垣
川邊　敏弘	男	
岩原　廣彦	男	香川大学
小比賀　正昭	男	
宮本　聖一	男	三菱電機㈱
生地　正人	男	㈱四電技術コンサルタント
十河　邦義	男	㈱四電技術コンサルタント
十河　久美子	女	
庄野　達也	男	西松建設㈱
谷脇　準藏	男	五洋建設㈱
塚元　龍馬	男	塚元龍馬技術士防災研究所
塚元　京子	女	
檜垣　和明	男	鹿島建設㈱
山本　房市	男	㈱四電技術コンサルタント
安藤　真里	女	㈱四電技術コンサルタント

４．概要

浅野副会長を団長として、総勢２０名で３か所の見学を行いました。2019 年から３年ぶりの開催となりまいたが前回同様、ご夫婦での参加も３組おられ、家族的で和やかな見学会となりました。

当日の天候は、終日、少し汗ばむほどの青空が広がる快適な１日でした。

今回の見学会は、コロナ対策のために、バス２席１名使用といった離隔が取れるように配慮した形で行ったので、20 名程度に制限した運用となりました。

高松駅からの移動中のバス内で、高知佐川出身の近代港湾建設の礎を築いた廣井勇博士の偉業小樽築港のビデオを鑑賞し、博士の土木技術者、教育者としての生きざまを学びました。

午前中は、高知県立牧野植物園、竹林寺を自由散策し、途中、高知名物カツオのたたきの昼食をとったあと、午後は国土交通省　日下川新規放水路事業　呑口側工事の現場を視察しました。

夕刻には、明治初期、日本の学術・技術の近代化に貢献し、後進の育成に尽力された牧野博士・廣井博士を生んだ佐川町を訪れ、彼らの足跡を探索しました。

5．見学会の報告

（1）牧野植物園、竹林寺の見学（高知市）

牧野植物園は、2023 年４月から放映が予定されている朝ドラ「らんまん」の主人公である牧野富太郎博士の業績を記念して開園された県立植物園です。牧野博士の日本野草にかける情熱と彼を支えた夫人の生きざまに感銘を受けました。植物園は 8ha の敷地に博士ゆかりの 3000 種以上の植物が植えられています。牧野博士が野草の分類・命名に尽力されたおかげで草にも花にも名前があることを知りました。昔は多くが名もない植物だったそうです。

牧野植物園にて

植物園は、竹林寺の敷地内にあり、「よさこい節」でおなじみの「坊さんかんざしかうを見た」とうたわれた、竹林寺の僧侶である純信とお馬の少しはかない物語が実話であったようです。残念ながら、しみじみとした美しさを見せると呼び声の高い境内の紅葉には少し早かったようです。

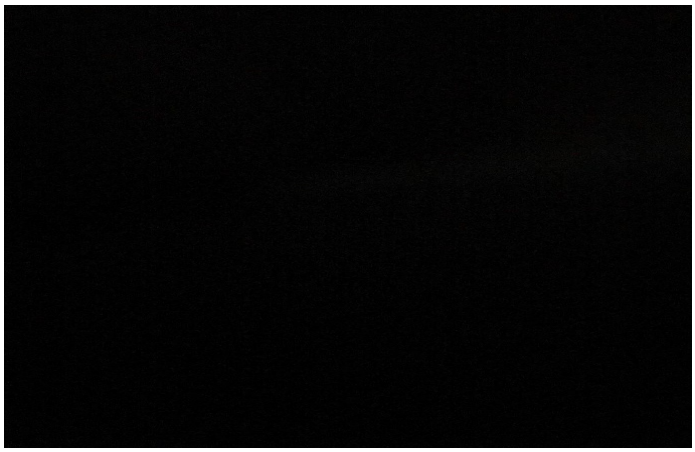
（2）国土交通省　日下川新規放水路工事現場見学（日高村）

国道交通省による日下川新規放水路事業の工事現場を見学しました。この地にはすでに２本の放水路が整備されていましたが、平成 26 年８月台風 11 号、12 号の豪雨で甚大な浸水被害を受けたために、さらに安全に内水を流下させる新規放水路を整備する事業です。

工事について、鹿島建設㈱日下川放水路（呑口）工事の藤井所長に工事概要、現場の案内・説明をしていただきました。このトンネルでは、トンネル工事の自動化の一つであるロックボルトとの全自動施工他いろいろな新技術を採用されていました。

また環境に対しては、二酸化炭素固定化技術を用いたネガティブコンクリートでできたSUICOMプレキャスト型枠を使用して、地球温暖化対策の試みもされていました。

日下川放水路トンネルは、竣工後インフラツーリズムに使用され施設見学ができるようになります。安全な見学ルートを確保するために、現在、進入路の覆工コンクリートを打設していました。左はセントルの写真です。



放水路坑内の照明を落とすと現れる真っ暗闇をひと足早く体験をさせていただきました。左の写真は、照明を落とした真っ暗な坑内の写真です。下の集合写真とほぼ同じ位置で撮影しました。本当の暗闇の中では距離感、方向間隔が失われ不思議な感覚を味わいました。暗闇体験を希望の方は、今後開催される日高村主催のインフラツーリズムご参加いただければと思います。

日下川放水路内を見学

（3）廣井勇博士銅像・牧野富太郎博士生家他　見学（佐川町）

佐川町出身で、牧野博士と同級生である偉大な土木技術者　廣井勇先生を記念して建立させた銅像を見学しました。廣井博士は、近代土木技術の礎を築いたばかりでなく、東京帝国大学教授として、吉田徳次郎先生、國分正胤先生他、たくさんの優れた土木技術者を育てられました。札幌農学校の同級生である新渡戸稲造、内村鑑三、宮部金吾に比べると、功績に対して知名度が低すぎる、土木の偉人をもっと世に知ってもらいたいという気持ちが高まり、「廣井勇を顕彰する会」が設立されました。会員の寄付で令和３年４月１７日に故郷である佐川の地に銅像が建立されました。

廣井勇博士像前で

「廣井勇を顕彰する会」第１回視察団に参加された武山相談役にご説明をいただきながら銅像前で記念撮影を行いました。

廣井博士は、人間味にも優れた『清きエンジニア』であり、土木学会初代会長を務められた名実ともに近代日本を代表される偉大な技術者であったことを申し添えておきます。

佐川町内にある廣井勇博士・牧野富太郎博士が共に学んだ「名教館」を見学しました。

学ぶことの大切さを深く感じた一日でした。

＜閑話休題＞

今回の見学会は、旅行支援対象ツアーとして、旅行代金の割引の他に地域限定クーポン券をいただけました。

季節は 11 月、酒どころ佐川、新酒の季節ということもあり、良いお土産ができたようでした。

（文責：事務局　檜垣）